

那珂市地域公共交通連携計画（案）に対する 意見を募集した結果について

1. 意見募集の概要

①意見募集期間

平成 24 年 9 月 3 日(月) ～ 平成 24 年 9 月 28 日(金)

②閲覧及び意見の募集方法

- ・ 那珂市ホームページへの掲載
- ・ 那珂市役所政策企画課での閲覧
- ・ 那珂市役所瓜連支所での閲覧
- ・ 那珂市立図書館での閲覧

③閲覧等の概要

- ・ ホームページへのアクセス 68 件
- ・ 資料の閲覧 1 人

④（案）に対する意見(コメント)

- ・ 意見(コメント)提出人数：2 人
- ・ 意見(コメント)数 : 4 件

2. 意見(コメント)の概要及びそれに対する市の考え方

意見(コメント)の概要	意見(コメント)に対する市の考え方
<p>○ひまわりバスは大通りだけでなく、小さい車でよいから太田街道にもほしい。以前は市役所行きがあったが、現在無いのもおかしい。後台駅からの始発は、長く歩けない者は無理です。</p>	<p>○地域公共交通連携計画において、現在運行しているコミュニティバス「ひまわりバス」の地区コースに替わるものとしてデマンド交通を導入します。デマンド交通は予約制の乗合タクシーで、自宅から公共施設や病院などの目的地まで直接行くことが可能となり、バス停まで歩く必要がなく、さらに利便性の向上が図られます。</p>

見(コメント)の概要	意見(コメント)に対する市の考え方
<p>○無料の福祉循環バスから平成 22 年度から有料のコミュニティバスとなり、5,000 人／年が減少しているが、要因は有料化によるものと理解していいか。</p>	<p>○コミュニティバス「ひまわりバス」は、市公共交通検討委員会において運行コースや料金設定等、利便性の向上を図るための協議を重ね、平成 22 年 4 月から運行を開始しました。しかし、平成 22 年度の利用者は約 5,000 人減少してしまいました。利用者減少の要因は、一つには有料化に伴い利用者負担が新たに生じたことが考えられます。また、運行便数の増などの見直しを実施しましたが、運行コースや運行時間など多様な市民の要望に応える運行が難しいことがあげられます。東日本大震災により利用不可になった公共施設もあり、それに伴うひまわりバスの利用が減少したことも考えられます。今後はデマンド交通の運行により市民の要望に応じてまいります。</p>
<p>○将来において社会福祉協議会や NPO 法人の運営するタクシーが益々強化されていくように推測される。こういう団体との連携などは検討されているのか。</p>	<p>○社会福祉協議会や NPO 法人が運行する福祉有償運送は、現在自力で移動することが困難な方の大切な移動手段となっております。移動手段を持たない市民の方のニーズは多様であり、既存の交通システムとデマンド交通の連携により市民に必要なサービスを提供します。</p>
<p>○は一との交通・・・いいネーミングです。三本柱の基本方針のうち、デマンド交通を高齢者に説明したら早期実現を望んでおり、その利便性を期待している。料金は 500 円／回くらいがリーズナブルな金額かも？ 申し込み電話や待機時間の短縮化などは検討が必要になる。</p>	<p>○デマンド交通は、平成 25 年 4 月から実証運行を開始します。利用料金については、他市町村の例を参考にしながら利用者の負担増にならないよう検討します。デマンド交通の実証運行の結果を踏まえ、本格運行に向け利用申し込みや待機時間の短縮など予約システムの必要性についても検討します。</p>